

環境創造センター研究成果報告会

—地域復興の歩みを支えるために—

開会に当たって

平成29年4月11日

環境創造センターについて

環境創造センターは、**環境の回復・創造に取り組むための調査研究及び情報発信、教育等を行う総合的な拠点施設**

- 平成24年10月 環境創造センター基本構想策定
- 平成27年 2月 環境創造センター中長期取組方針策定
- 平成27年 4月 日本原子力研究開発機構・国立環境研究所との連携協力に関する基本協定締結
- 平成27年10月 環境創造センター本館及び環境放射線センター業務開始
- 平成28年 3月 研究棟・交流棟完成、引き渡し
- 平成28年 7月 環境創造センターグランドオープン



環境創造センターグランドオープン(7月21日)

施設の概要

日本原子力研究開発機構(JAEA)及び
国立環境研究所(NIES)が入居

- ・ JAEAは、主に放射性物質による環境の汚染を除去し、環境を回復させるための調査研究を実施
- ・ NIESは、主に放射性物質の動態解明や災害廃棄物についての調査研究を実施

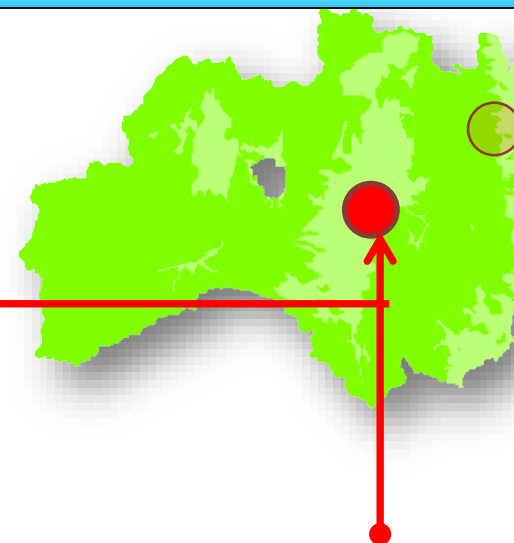
研究棟



福島県が入居

- ・ 1階は環境放射能のモニタリングや調査研究を行うエリア
- ・ 2階は大気、水、廃棄物のモニタリングや調査研究を行うエリア

本館



附属施設



大玉村



猪苗代町

「対話と共創の場」

- ・ ふくしまの環境を知り、創り、発信する展示や、国際会議・学会・等を開催するホール・会議室等を備える。
- ・ シアターでの映像や企画展示は、国立科学博物館と連携・協力

交流棟



200名規模の学会・講演会・
シンポジウムなどが開催可能

環境創造センターの特色

1. 4つの機能 (総合拠点)

環境放射能等のモニタリング	
調査研究	放射線計測
	除染・廃棄物
	環境動態
	環境創造
情報収集・発信	
教育・研修・交流	

調査研究は
4つの部門
で構成

2. 施設

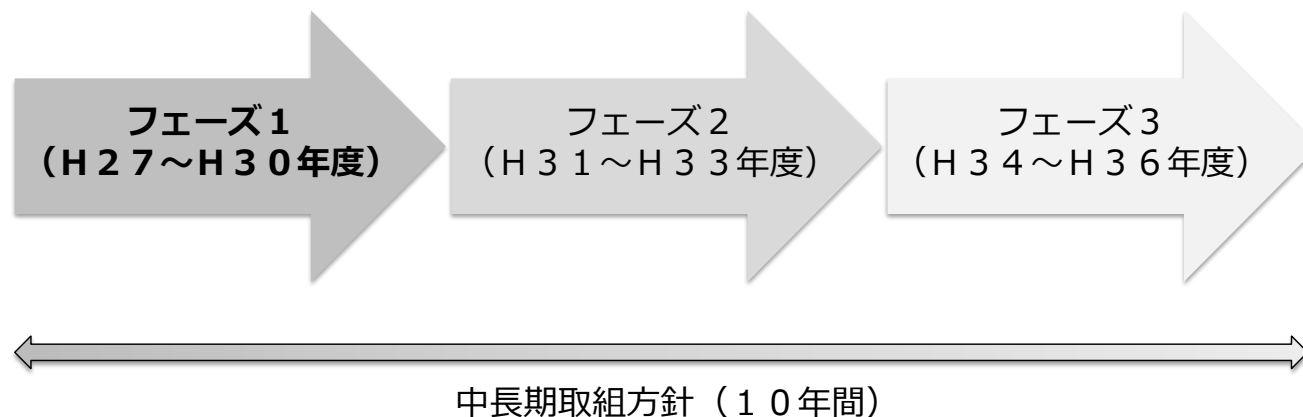
国の財政支援を得て、福島県が建設

3. 運営

- 入居する3機関(福島県、国環研、JAEA)は、組織的には独立しつつ、連携して運営
- 運営戦略会議の決定した「中長期取組方針」に基づく

環境創造センターの調査・研究の進め方

1. 10年間を3期に分け、現在フェイズ1を推進中



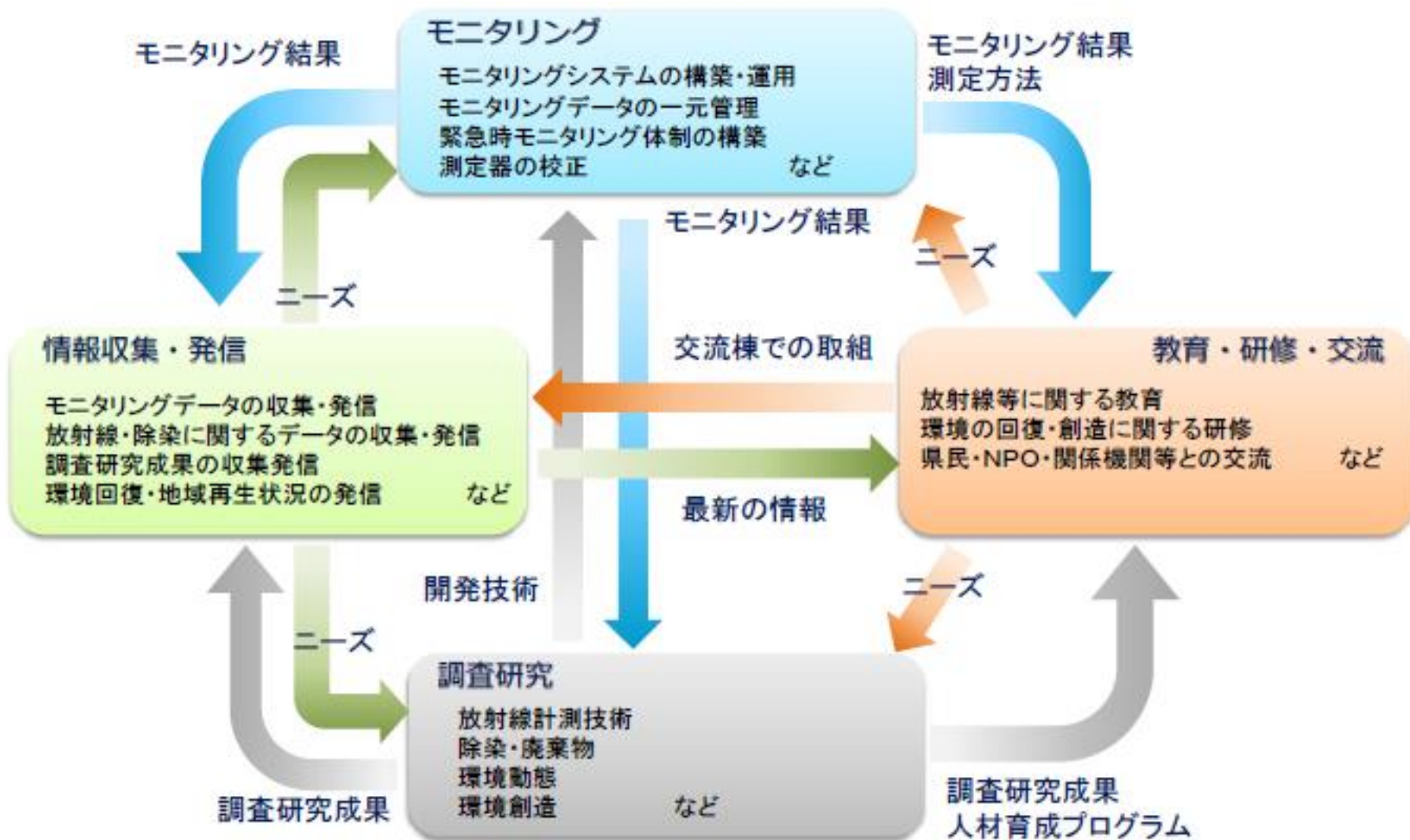
2. 三機関の連携により、環境回復・創造に貢献

- 三機関の実施する研究テーマを、4つの部門に再構成
- それぞれ部門会議を設置し、部門長がコーディネート
- 県民ニーズを反映させるため、県民委員会から意見・助言
- 三機関代表や部門長等で構成する連絡調整会議で全体調整

環境創造センターの調査・研究の目指すもの



環境創造センターの4つの機能の連携



本日のプログラム

本日は、平成28年度までの各部門の成果をご紹介します

- 10:30 開会
- 10:40 ショートプレゼンテーション
- 10:50～ 1. 放射線計測部門
- 11:40～ 2. 除染・廃棄物部門
- 12:30～ 休憩（昼食）
- 13:20～ ○ポスターセッション（放射線計測／除染・廃棄物部門）
- 13:50～ 3. 環境動態部門
- 14:40～ 4. 環境創造部門
- 15:30～ あいさつ
- 15:40～ ○ポスターセッション（環境動態／環境創造部門）
- 16:10 閉会

私たちの今後の活動に活かせるよう、ご意見いただければ幸いです